

議 長	委員長	局 長	係 長	係

第 9 回産業厚生常任委員会 会議記録

日 時	開会	令和 4 年 11 月 16 日（水）午後 3 時 00 分				
	休憩	15:25～15:32				
	閉会	令和 4 年 11 月 16 日（水）午後 4 時 05 分				
会議場所	斜里町総合庁舎 3 階 委員会室					
出席委員	委員長	小 暮 千 秋		委員	佐々木 健 佑	
	副委員長	櫻 井 あけみ		委員	須 田 修一郎	
	委員	山 内 浩 彰				
欠席委員	なし					
行政職員	副町長	北 雅裕		総務部長	増田 泰	
	産業部長	茂木 公司		財政課長	南出 康弘	
	水産林務課長	森 高志		商工観光課長	河井 謙	
	水道課長	榎本 竜二		商工観光課観光係長	岩淵 聖也	
傍聴者数	一 般 者	名	報道関係者	名	議 員	名
事務局職員	事務局長 平田 和司		議事係長 宮下 直人			
産業厚生常任委員会を開催したので下記により記録する。						
記						
1. 町内所管事務調査のまとめ						
1) 緑ダム発電施設（9:55～）						
対応者）清里町：産業建設部長 北川 実 氏						
産業建設課産業振興グループ主事 藤代 弘輝 氏						
斜里町：茂木産業部長 / 笠井農政係長 / 長徳農政係主事						
①発電施設の稼働状況を調査						
2) 道の駅 シリエトク（12:00～）						
対応者）斜里町：河井商工観光課長						
①施設内外の現況について（バックヤードの確保、歩道の木製雨避けの延長検討等）						
— 昼食休憩（12:15～12:45） —						
3) 知床自然センター・運動ハウス（13:00～）						
対応者）知床財団 高橋事務局長						
斜里町：吉田自然環境係長						
①施設現況について						
②活用状況						

・調査の総括（15:00～）

（意見等）

○緑ダム発電施設

小 暮：6月から稼働。まだ冬を越していないため、冬の水量がどうなるか、除雪・倒木の関係等不安なところもあるとのこと。

佐々木：現段階の安定稼働を確認できたため、引き続き安定稼働を見守りたい。

須 田：水力発電は太陽光発電と違って安定すると感じた。冬期間に及ぼす影響が気になる。

山 内：まだ年間稼働していないため、メンテナンス等今後の課題である。

櫻 井：1市4町で運営する施設。SDGsの観点から考えても環境に負荷の少ない、今の時代に合った施設であると感じた。

○道の駅 シリエトク

山 内：使い勝手が悪い部分は直さなければならない。

佐々木：行政としては課題として認識している。

櫻 井：行政はもっとスピード感を持って対応してほしい。今日受けた説明は稼働してからずっと言われてきた内容であり、15年経って急に出てきたものではない。

○知床自然センター・運動ハウス

山 内：音声ガイダンスやスマホでの検索システムがあればよいと感じた。

・報告書の様式に沿って、委員個々により報告書を作成し、事務局へ送付する。

※切り：令和4年11月30日まで

・委員会全体の報告書は委員長が作成する。

2. 11月臨時会議案件について

・新型コロナウイルス感染症対策事業について

説明：南出財政課長（15:32～15:45）

【質疑等】

佐々木：知床流氷観光振興事業について、C：若者応援クーポンの対象者を18～24歳とした理由は何か。

河 井：明確になぜということは説明し難いが、3月の需要喚起が課題となっており卒業旅行が多い時期であるため、そこをターゲットとした。年齢で対象者を分けたのは身分証明の確認が行いやすいためである。

佐々木：考え方としては対象者を「親子」としてもよかったのでは。

河 井：今回は卒業旅行応援というキャッチコピーで、ターゲットを絞り込むがゆえに注目が集まりやすいのではという話になった。

櫻 井：まんぷクーポンデジタル、1次募集の売り上げはいかがか。

河 井：元々8,000口用意したが、1次募集では4,011口の予約があり、うち90%換金された。今、2次募集をかけており、残り約15%となっているため、完売は間違いないだろうと考えている。

櫻 井：町外からの申し込みは。

河 井：110人申し込みがあった。

櫻 井：最近はクレジット決済が多くなっているが、決済をした後にデジタルクーポンを使うのはどういうシステムになっているのか。

河 井：代理店を通じて決済してしまった場合、これは使えない。現地支払いのみ対象となる。

櫻 井：デジタルクーポンの発売は12月20日頃となっているが、冬場はすでに予約がかなり入っている。

河 井：発売予告は早めに行いたい。

増 田：全国的にみても同じ仕組みとなっている。

小 暮：高齢者世帯等生活支援事業について、福祉灯油は今年行わないのか。

副町長：この事業は昨年度も行っている。福祉灯油の論議がある中で、以前宮内議員より、生活保護受給世帯の拡充をしたらどうかという話があり、道の対策を利用してやりましょうということとなった。

副町長：一点予告させていただきたい。知床観光船事故の捜索経費に関して、事業者側の保険で賄われない部分を町から上乗せ支給することで考えているという話をしていたが、先日事業者側の保険の支払いが一定配布されたということであり、町からは基金を活用して案分率に基づいて上乗せすることで考えている。12月議会で予算提案を行う予定であるので、事前に話をさせていただく。

3. その他

(主な意見等)なし

資料：03-2 [資料 2] 100㎡運動ハウス揭示板

00 11月臨時会議議案一覧

01 条例【人勸】 資料 1

02 補正落 Z 説明資料 2-1

02 補正落 Z 説明資料 2-2

03 【参考資料】 R04 人勸議会資料

音声データ：04 [音声] 221116_第9回産厚委員会